

# 非正規職撤廃！青年は全国水平同盟第2回大会に参加しよう



昨年7月の全国水平同盟結成大会

ています。なぜ激しい攻防になるのかということ、寺尾判決の時に、石川さんへの差別裁判を許さない日比谷公園を埋めつくす闘いがあった、労働組合が階級として一つになり、日本の労働者が一つになって狭山闘争に決起した。これに対する恐怖が権力にあるんです。だから国家総がかりの意思として、再審をやらせないという攻撃がかけられているのです。

その中で今、検察が握っている証拠を全面的に出せという闘いが、いかに権力に打撃を与えているのかということ。一つは、袴田さんの再審が決定しました。もう一つは星野さんの全証拠開示の闘いです。その意味で、星野闘争と一つになって狭山闘争を闘っていくことです。

最近、杉並支部を軸に『SAYAMA 見えないう手錠をはずすまで』の映画会をしています。石川さんが51年間も、不屈に無実の主張をして闘っている、これはすごいことやないかと、若い人たちの気持ちを引きつけています。いつ首になるかわかれへん、住むところも家賃が高くてどうにもなれへん、結婚の夢も全然みえへん、という若い人の今の境遇・・・そういう新自由主義の激しい攻撃の中で、石川さんの絶対反対の不屈の闘いが、本当に日本の労働者とりわけ若い人に希望を与え、絆を感じさせています。あらためて狭山闘争を全力で闘っていききたい。

**住宅闘争は労働者の生きさせるの闘い**

1・30 仮執行宣言付反動判決があつて、実際に5月2日、駐車場への強制執行がやられました。しかし、第一審で現に住んでいる住宅に対して、仮執行判決が出るというのは三里塚闘争なみです。日本の政府がこの住宅闘争が爆発したら困る、だから絶対に押さえないという悲鳴で、狭山闘争といつよなんです。

ひとつは、市役所への抗議闘争をやりました。市役所の労働者が僕らに対して

は、市役所への抗議闘争をやりました。市役所の労働者が僕らに対して



強制執行許さん4・16八尾市抗議行動

たちと同じやないかと。だから、もう一歩いけば、市役所の労働者の決起も生み出していくし、市役所の労働者だけじゃなくて、労働者全体が自分たちと同じ立場にあると絶対に動き出す、そういう時代にきている、そういう地平をまず確認したいと思います。

## 全国水平同盟2回大会成功かちどころ

去年の7月に全国水平同盟を結成しました。全国水平同盟の団結も労働者の団結なんです。労働組合の団結も労働者の団結なんです。中身はいつしよなんです。「命より金もつけ」の新自由主義攻撃の中で労働者みんな同じ立場に置かれています。たとえば住宅問題、賃金の問題、介護の問題、年金の問題、形は違つかもしれませんが、みんな同じ立場に置かれています。そういうことをうち出して人間として仲間として団結して共に生きていこう、そういう闘いを作りだそう。労働者は一つなんだ、団結できるし、団結しよう！これが全国水平同盟結成の最大のテーマです。

一つは、7月の全国水平同盟の2回大会にむけて、団結署名をやっている。この署名の中でムラの団結を作り直している。一つは、労働者の生きさせるの闘いとして住宅闘争を闘いぬこう。二つに、ムラの団結で、労働者の団結で八尾北つぶしを絶対許さない。四つは、関西合同労働東部支部をはじめとして無数の労働組合を作っている。7・4住宅裁判から7月全水同盟第2回大会に決起し、9月西郡住宅闘争勝利全国集会をかちどころ。

争勝利全国集会をかちどころ。